

令和7年度 第3回鳴門高等学校学校運営協議会 議事録（概要）

1 日 時 令和8年3月12日（木） 午後2時から午後4時まで

2 場 所 鳴門高等学校 視聴覚室

3 会 議

(1) 開会

(2) 学校長挨拶

(3) 村澤会長挨拶

(4) 議題①「令和7年度学校評価総括評価表（案）について」

（・事務局より説明・回答 ○委員より質問・意見）

- ・全日制課程令和7年度学校評価総括評価表（案）について、重点課題ごとに説明を行い、質疑応答を行った。

【地域の活性化につながる探究的な学びの育成】

○総合評価の評定について

自己評価を行うと厳しい評価になるので、評定Bでよいと思われる。

【「グローバルな視点」を持って地域社会に貢献できる力の育成】

○英検の取得について

- ・今年度の合格者、放課後の英検対策補習、について説明した。

○TOEICなど各種検定について

- ・高校生のレベルや実態を踏まえると英検が適切ではないかと説明した。

○目的に応じたものを受験するとよい。

○遅刻件数が増加した理由について

- ・遅刻の原因を説明した。また、「いじめやめん会」「あいさつ運動」などの取組を強化し、学校に来たい雰囲気作りを心がけているが、なかなか好転しない現状があることを説明した。

【地域に開かれた安心で安全な学校や社会を醸成する心の育成】

○自転車事故の件数が増えているが、その点について何か啓発を行っているかについて、質問があった。

- ・啓発ポスターの掲示や、警察の方に、入学者説明会やPTA総会を活用し、ヘルメット着用の大切さや自転車のルール改正について、啓発活動を行ってもらっていることを説明した。

- ・定時制課程令和7年度学校評価総括評価表（案）の説明があった。
重点課題ごとに説明を行い、質疑応答を行った。
- 定時制の取組は、様々な生徒がいる中で工夫して行われている。
生徒の希望に応じた指導を心がけており、作品を出品している。
- 学力コンペの数値が飛躍的に向上したことについて、どんな取組を行ったのかという質問があった。
 - ・学力コンペの出題の見直し、担当から内容について生徒に丁寧に伝えることにより、生徒の意識が変わってきたことが挙げられると説明があった。
- 意欲的な取組によって、数値に現れていることについて感銘を受けた。
 - ・小さな積み重ねや、芸術等のコンテストに出品することが増え、表彰されることも生徒のモチベーションになっていることを説明した。評価していくこと、良いところを見つけていくことは大切であると説明があった。

議題②「令和8年度学校評価総括評価表（案）について」

- ・令和8年度学校評価総括評価表（案）について、評価指標と活動計画を説明し、質疑応答を行った。
- 達成できていない指標について、精選することはよいと思うが、昨年度と今年度を比較してではなく、重点目標を測定するためによいものを残す方向がよいのでは、という意見があった。
 - ・学びサポーターを活用し、生徒の希望に応じた指導体制を整えたい。
- 地域連携センターに相談の上、鳴門教育大学の生徒に呼びかけるとよい、と回答があった。
- ・補助金を活用してワープロ・エクセル検定を全員に受験させること、人と関わって学ぶことを大切にしていきたい、できる範囲で主体的に取り組みせたいと説明があった。

(5) 熟議・情報交換

- ・河合塾グループの新設校「ドルトンX学園高等学校」の地域での滞在型学習拠が鳴門市に開設されることに伴い、鳴門高校の特色化・魅力化に向けて働きかけをしていきたい。
- 県外枠の撤廃や学区制の撤廃、また鳴門市の生徒数が減少することに対することについて言及し、地元で学ぶ生徒を大切にしてもらいたいというご意見をいただいた。
 - ・本校の現状を維持できるように配慮していきたい。
- 部活動だけでなく、勉学に励むため鳴門高校を受験したいという生徒もいる。
そのバランスも考慮に入れる必要がある。
- 総括評価表の目的にしたがって、適切に評価項目・評価指標を設定し、自己評価を行えていることが素晴らしいと感じる。一方で、探究活動をどのように改善していくかについてなど、次年度の方策について具体的に定めた方がより次

年度の改善につながっていくと感じた。総合的な探究の時間で探究したプロジェクトを実践してみるとよい。

- 春から自転車の走行ルールについての罰金制度の改訂があり、自転車で登校する生徒が多いため、少し心配している。
- 評価表を見ると、本当に多くのことに取り組んできたんだと感じる。毎日の実践については、できたできなかったがあると思うが、今後どうしていくかを考えていけば問題ないと思う。先生方は教育活動に誇りを持って欲しい。
- 進学に対する意識について、地域の特性なのか、意欲的な生徒が多くないことが課題だと感じる。
- Educationプログラムについて、より多くの生徒が教員を目指し、徳島県の教員として活躍してくれるように、支援を続けて欲しい。

(6) その他・事務連絡

次年度は安藝鳴門会会長、次期PTA会長を新しく委員さんとしてお迎えする予定です。

委員の皆様、次年度も引き続きよろしく申し上げます。

(7) 閉会